



あと一步の向上に向けた取組

函館市立えさん小学校

生活習慣・学習習慣の形成 基礎的・基本的な知識・技能の習得 望ましい学習態度の育成 学校組織・指導体制の改善

1 学力向上の具体的な方策

- ・低学年からのくり返しによる指導。
- ・思考力・判断力・表現力をはぐくむ言語活動に意図的に取り組む。
- ・全学級による公開授業を行い、児童の実態の把握や指導法の交流を行い、改善点や課題に対する共通理解を行う。
- ・家庭学習の徹底。

2 取組の概要

- ・全学年による繰り返し指導や補修の実施を行ってきた。特に、算数科での基礎・基本の定着を目指して、3年生以上では、チャレンジプリントを作成し、チェックテストを年間を通して行っている。特にその学年の苦手な箇所をとりあげ、さらに習熟しきれていない場合には、個別指導を行ってきた。また、長期休業中を利用して、復習や苦手箇所の克服。
- ・全校朝会での作文発表を始業式・終業式などの各学年3名前後行い、全校児童が6年間を通して、3回程度の発表の場を設けている。
- ・自分の考えを筋道を立てて表現したり、言葉で説明するなどの思考力・判断力・表現力をはぐくむための指導を研究し、検証。授業改善に役立てている。
- ・授業公開することで、系列立てた指導と共通理解を図ってきた。
- ・学習の仕方など、再度振り返り、改善点を模索。
- ・CRTなどの各種検査の活用による、学力の状況や課題の把握。
- ・読書活動
- ・家庭学習の手引きなどを全世帯に発行し、家庭への呼びかけ。

3 成果（ ）と課題（ ）

チャレンジプリントを繰り返し行うことにより、子ども達が、できた喜びを感じ、他の発展問題にも意欲的に取り組むようになってきた。また、自分の苦手な箇所を見つけることができ、再チャレンジすることで、基礎・基本の定着につながってきた。

学校からの課題に関しては、しっかりと行うが、自ら考えて家庭学習をする力が弱い。家庭学習の仕方などを再度検証し、指導していく必要がある。